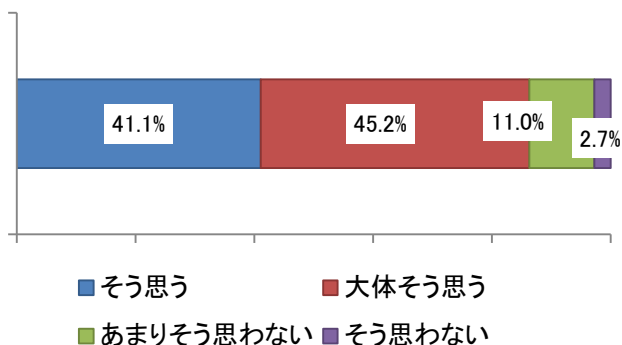


【生徒】

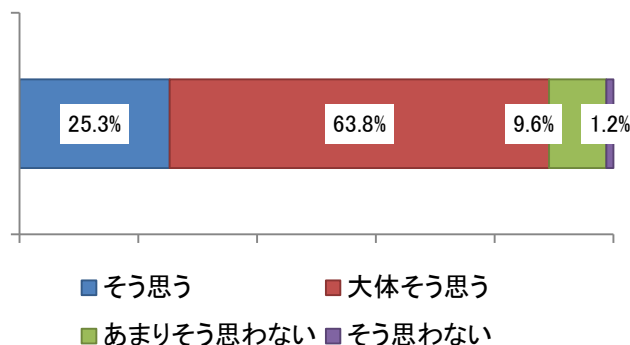
私は、学校生活を楽しんでいる。

1



【保護者】

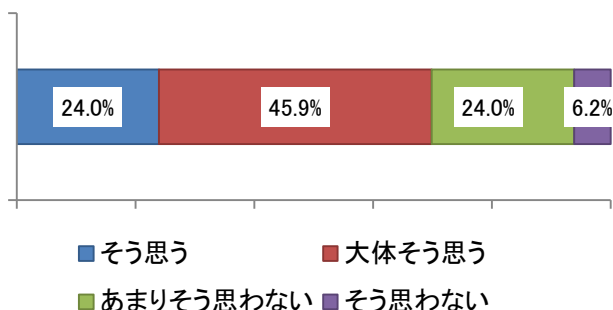
お子様は、学校生活を楽しんでいる。



【生徒】

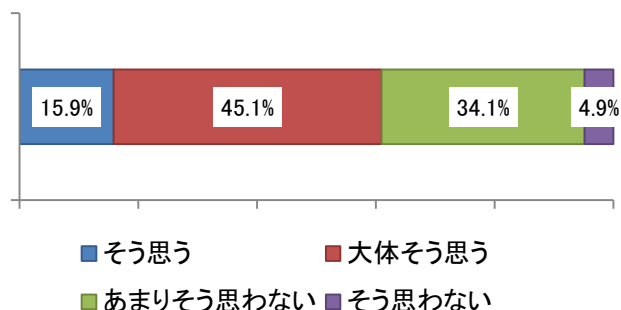
私は、将来の夢や、進路・自分の目標について考えている。

2



【保護者】

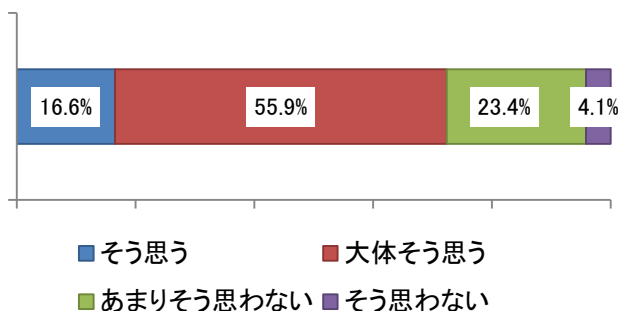
お子様は、将来の夢や、進路・自分の目標について考えている。



【生徒】

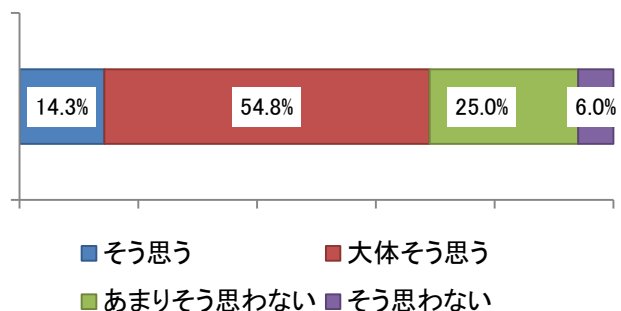
私は、授業で提示される本時の目標(教科のその時間の目標)を達成している。

3



【保護者】

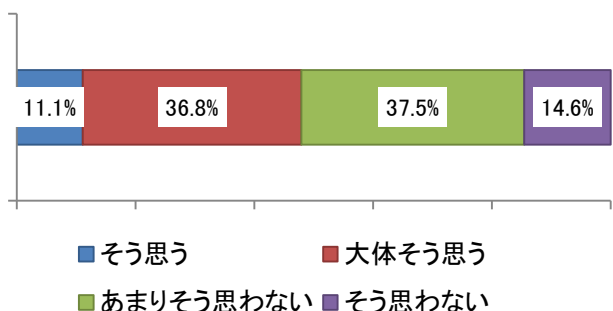
お子様は、授業で提示される本時の目標(教科のその時間の目標)を達成していると思う。



【生徒】

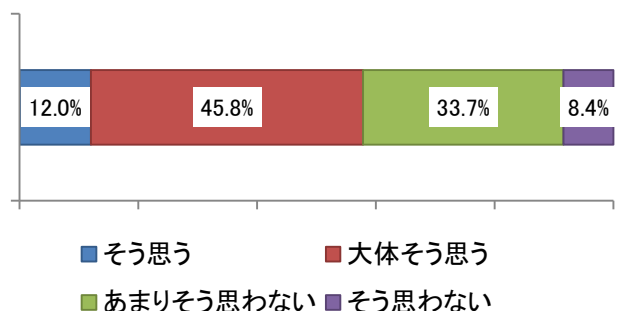
私は、家庭で学習する習慣が身についている。

4



【保護者】

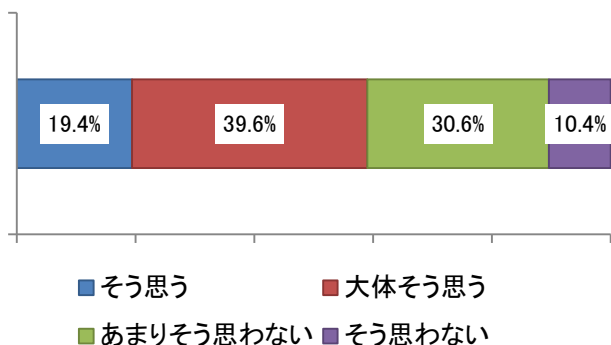
お子様は、家庭で学習する習慣が身についている。



【生徒】

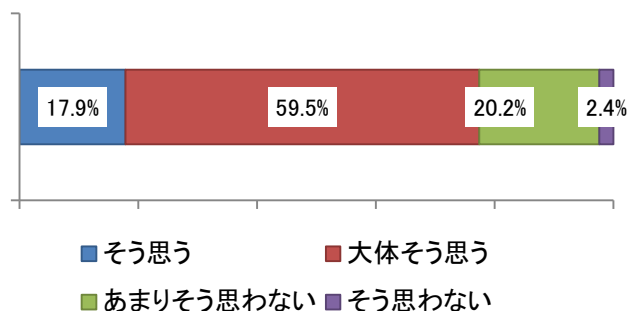
私には、良いところがある。

5



【保護者】

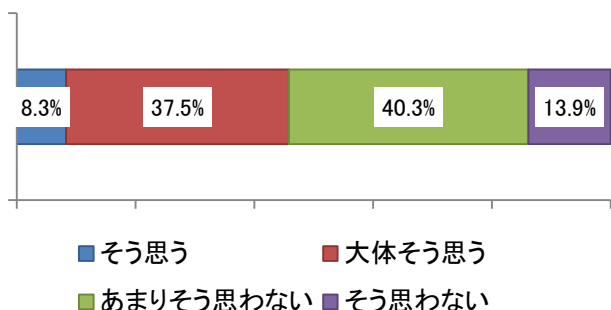
お子様に、お子様の良いところを伝えている。



【生徒】

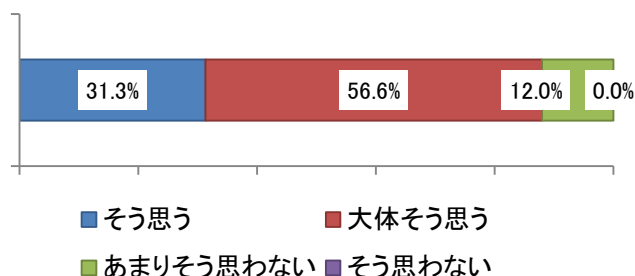
私は、人の役に立っていると思う。あるいは、私のことを必要としている人がいると思う。

6



【保護者】

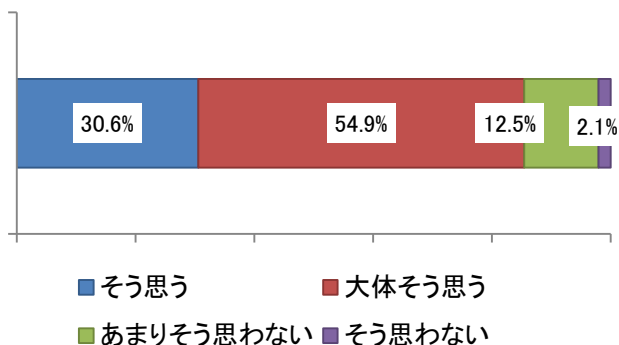
お子様は、人の役に立っていると思う。あるいは、お子様のことを必要としてくれている人がいると思う。



【生徒】

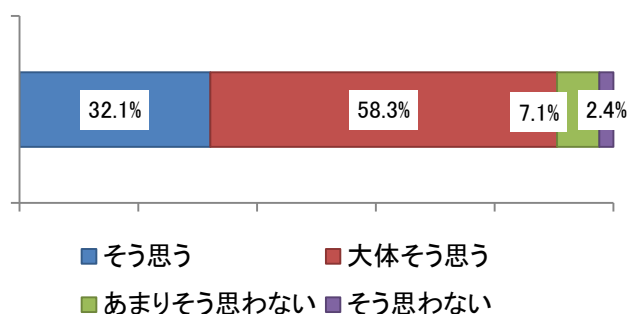
私は、学校や社会のルールを守っている。

7



【保護者】

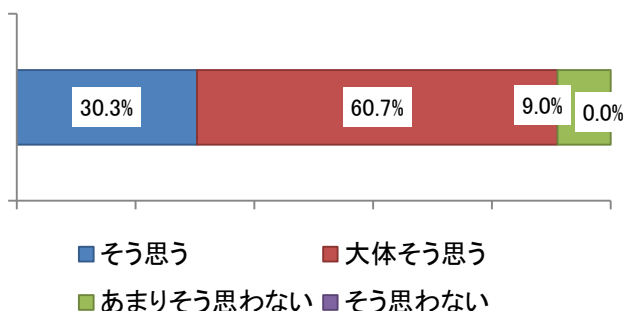
お子様は、学校や社会のルールを守っている。



【生徒】

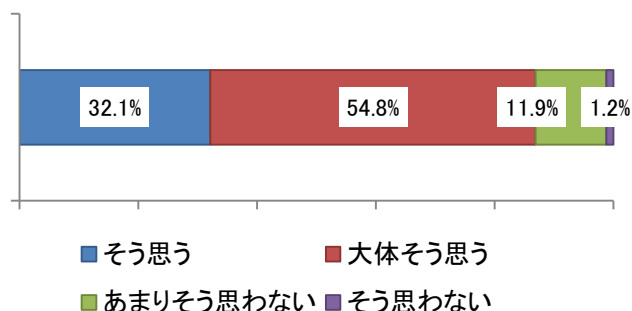
私は、相手の気持ちを考え、仲間と協力して活動している。

8



【保護者】

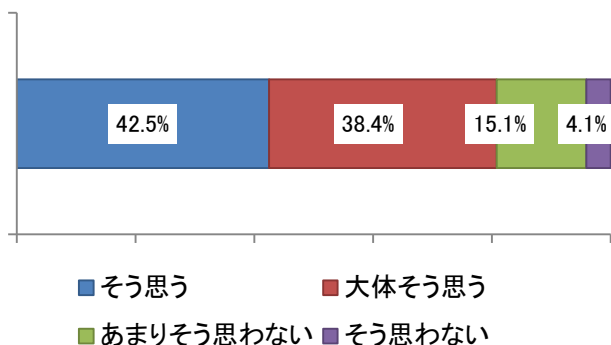
お子様は、相手の気持ちを考え、仲間と協力して活動している。



【生徒】

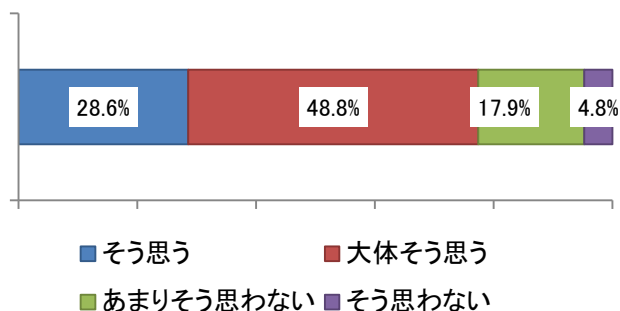
私は、学校や地域であいさつをしている。

9



【保護者】

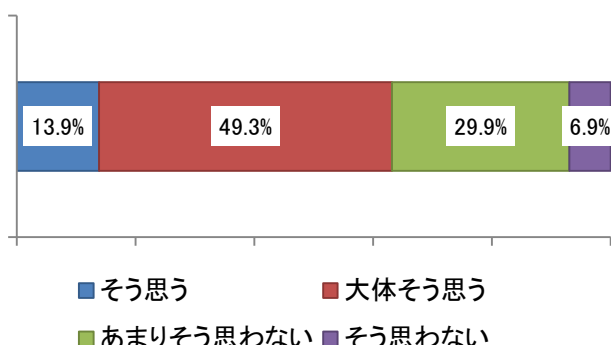
お子様は、学校や地域であいさつをしている。



【生徒】

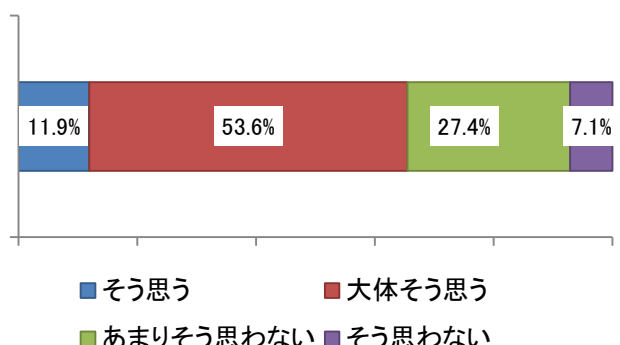
私は、正しい言葉づかいで話している。

10



【保護者】

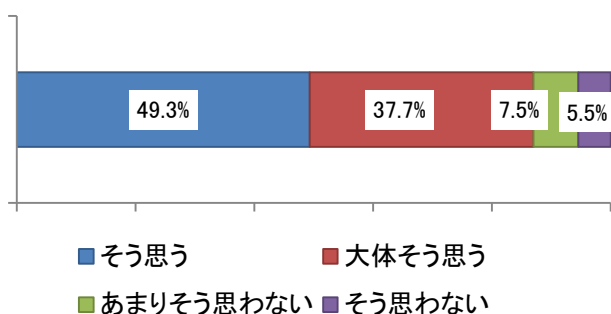
お子様は、正しい言葉づかいで話している。



【生徒】

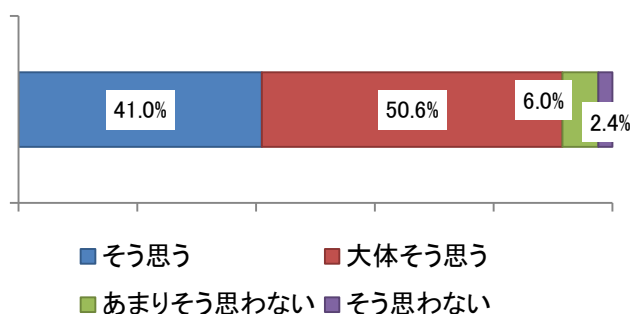
私は、いじめ・いたずら・いやがらせを許さない姿勢を持ち続けている。

11



【保護者】

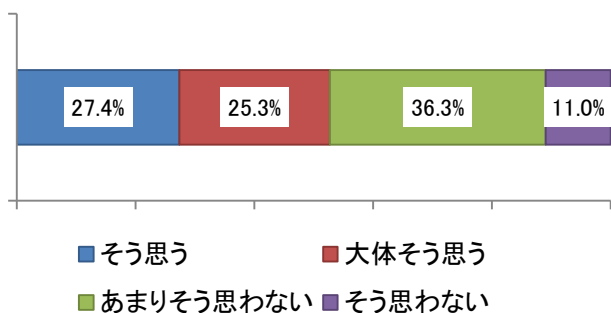
お子様は、いじめ・いたずら・いやがらせを許さない姿勢を持ち続けている。



【生徒】

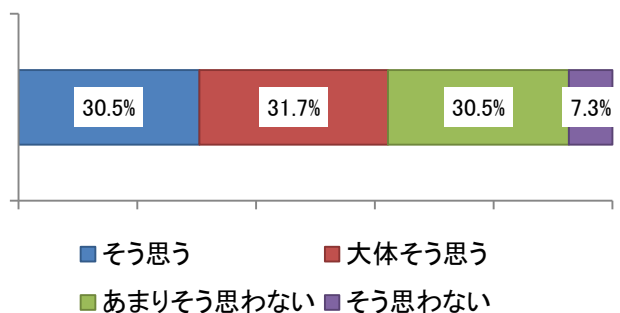
私は、「早寝・早起き・朝ごはん」を実践している。

12



【保護者】

お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」を実践している。



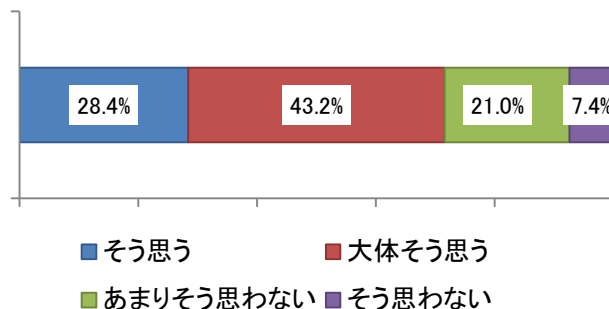
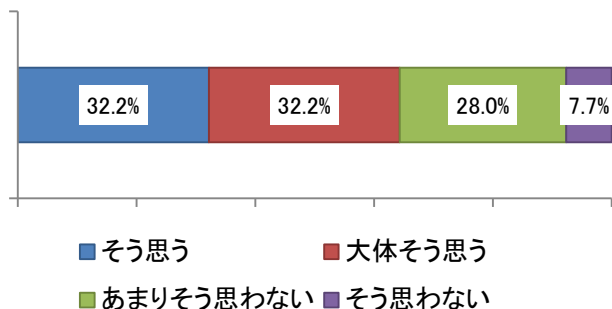
【生徒】

私は、日頃から身体を動かし、心と身体の健康に取り組んでいる。

13

【保護者】

お子様は、日頃から身体を動かし、心と身体の健康に取り組んでいる。



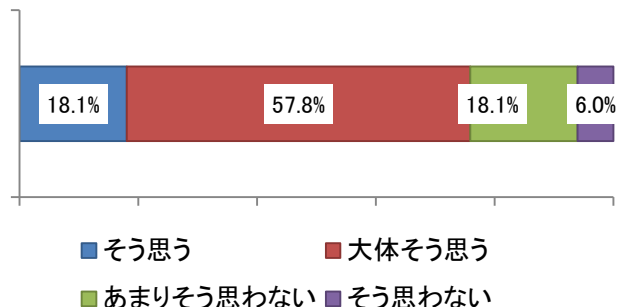
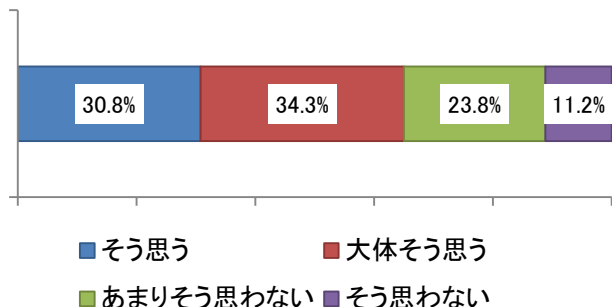
【生徒】

私は、私のことを家の人に話したり、相談したりしている。

14

【保護者】

お子様は、自分のことを話したり、相談したりしている。



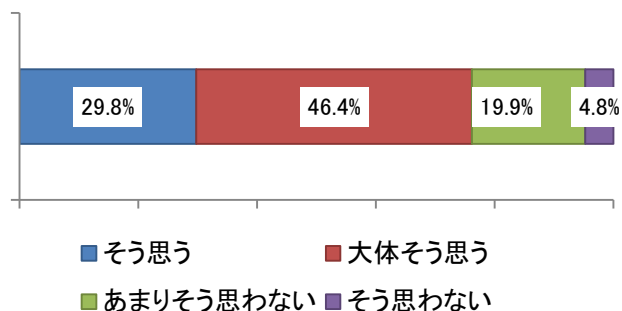
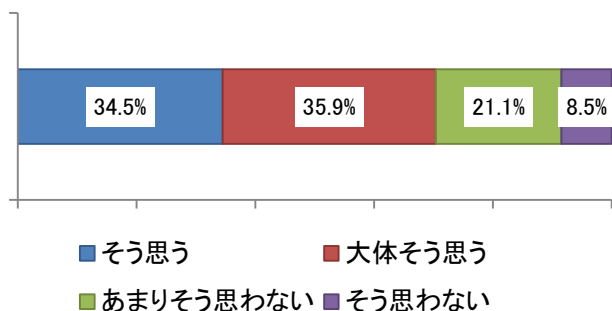
【生徒】

私は家の人に、学校・学年・学級などのおたよりを見せている。

15

【保護者】

お子様は、学校・学年・学級などのおたよりを見せている。



## 前期学校評価アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果をご覧ください。  
特に、生徒・保護者ともに高い値を示したもの、高くない値を示したもの、そしてその他今後の課題の順で記していきます。

まず高い値を示したものについては、大きく2つになります。

1つ目は、①「学校生活を楽しんでいる」と感じる項目です。生徒・保護者ともに高い値を示しています。まず学校生活を楽しんでいることは大切なことです。楽しく登校しているという評価に甘んじることなく、教職員は今後も生徒と向き合っていきたいと思います。

2つ目は、⑦「学校や社会のルールを守っている」や⑧「相手の気持ちを考え、仲間と協力して活動している」・⑪「いじめ・いたずら・いやがらせを許さない姿勢を持ち続けている」の項目です。規範意識や道徳観を備えるべきと感じていることは、今後の社会を担う人へと育っていく意味でも、とても大事なことだと思います。

逆に高くない値を示したものについても、2点あげられます。

1つ目は、④「家庭で学習する習慣がついている」の項目です。当然ながら身につけさせたい項目です。保護者の皆様からのご協力もお願いしたいことに加え、教職員も、生徒に「自ら学ばなければ」と思わせる授業展開を日々考え、努力しなければいけないと感じています。「学びにゴールなし」です。

2つ目は、⑫「『早寝・早起き・朝ごはん』を実践している」の項目です。児童・生徒の健全育成には、「早寝・早起き・朝ごはん」と言われる規則正しい生活が欠かせません。SNS等の影響もあると思われます。1日の消費エネルギーの約2割は脳を使うことによって消費されます。食べないと十分な教育活動も行えません。各ご家庭でのご協力をどうぞよろしくお願いします。

その他にもう1点取り上げます。今後の西陵中学校の課題とも言えます。生徒への質問⑤「私には、よいところがある」や⑥「私は、人の役に立っていると思う。あるいは、私のことを必要としている人がいると思う」の項目についてです。これらは自己肯定感と自己有用感と言われます。自分をかけがえのない存在と捉え、自分が有用であると捉えられる感情が、寛容性・粘り強さ・積極性・主体性・社会性を高め、ひいては幸福感を得ることに繋がると言われます。授業はもちろん、様々な教育活動を経験する中で、この感情を増幅させていくことがこれからの課題ととらえています。